

【旅行記】

アートの聖地 Marfaへの旅

ヒューストンから西へ10時間、砂漠の中にマーファ(Marfa)という人口約2000人の小さな町があります。以前1泊だけ立ち寄ったその町に惹きつけられ、私達は4日間の休暇を再びマーファで過ごすことになりました。

陸の孤島と呼ばれるマーファは1880年代に鉄道の給油地として開拓されました。この町は1920年代に発展し、第二次世界大戦中は軍事施設として使用されていました。後にマーファがアートの街として知られるようになったのは、1977年、マーファの地に魅了されたミニマリズムアーティストであるドナルド・ジャッド(Donald Clarence Judd)がニューヨークからマーファへ引っ越して来たことがきっかけでした。画家であり版画家であったドナルド・ジャッドは、次第にレリーフ風作品や立体作品を制作するようになりました。その後、マーファの陸軍基地跡の土地(1.4km²)を自作や限られた作家の作品を恒久設置するために買い取ったのです。

現在、チナティ・ファウンデーション(The Chinati Foundation)では、コンクリートやステンレスを使った作品を観ることができます。2.5kmに渡って展示されているいくつかの作品を鑑賞してみると、ドナルド・ジャッドが素材と配置に拘った意味が薄らと理解できました。過去に一度も観たことのないミニマルアートらしいシンプルで斬新な作品に衝撃を受けました。



▲マーファウォータータワー



▲ドナルド・ジャッド作品 ▲ジャッドファウンデーション ▲チナティ・ファウンデーション ギフトショップ

美術評論家としても高い評価を受けていたドナルド・ジャッドの住むマーファを目指し、世界的クリエイターが次々と訪れ、移り住むようになりました。その後、現代アーティストや職人の文化の中心地となったマーファでは、様々な作品がギャラリースペース、アートイベントなどで展示されています。

その有名な一つがプラダ・マーファ(Prada Marfa)です。ベルリンを拠点に活躍するアーティスト、エルムグリーン&ドラッグセットとミウッチャ・プラダがタイアップをした作品です。マーファから北東40km離れた砂漠にポツンと佇んでいます。ホワイトサンズからマーファへ向かう街灯りのない風景の中に突如として現れた灯りがプラダ・マーファだったのです。お店の中には、プラダ2005年の秋冬コレクションからセレクトされた本物の製品が並んでいます。アート作品だということをすっかり忘れ、その美しいバックや靴に見惚れてしまいます。プラダ・マーファは古くなり朽ち果てて砂漠の自然な風景に同化するところまでがアートプランにあるそうです。どこまでも広がる荒野の中で一際存在感を放つプラダ・マーファ。シンプルなドナルド・ジャッドのミニマルアートと底通するようなイタリアンブランドと砂漠のコラボが洗練された風景を醸し出していました。

プラダ・マーファ



ドナルド・ジャッドがマーファを訪れる以前には、1956年に公開された映画、「ジャイアンツ(Giant)」のロケ地としても有名になった地域でした。ジェームズ・ディーン最後の出演作品です。ジェームズ・ディーン、エリザベス・テイラー、ロック・ハドソンなどのキャスト、撮影クルー達が滞在していた国家歴史登録財指定のホテルがThe Hotel Paisanoです。

このホテルは1930年、今から92年前に建設されました。ネオンサインが古きアメリカらしさを強調しています。ロビーや客室の通路には、映画の写真が博物館のように飾られ、家具や調度品にも歴史を感じます。まるで映画の時代を旅しているような気持ちに駆られます。実際に主演キャストが宿泊したジェームス・ディーンルーム、ロック・ハドソン スーツ、エリザベス・テイラー スーツなどと名付けられた部屋があります。また、ジェームス・ディーン役に因んで名付けられたバー「Jett's Grill」では有名なマルガリータが味わえます。

私達はマーファから帰った後に、3時間の映画ジャイアンツを観ました。まだ人種差別が激しかった頃の女性の自立と人間模様が、聞き覚えのある音楽と共に繰り広げられていました。時折出てくるテキサスの荒野が既に懐かしく感じられました。

このホテル以外にも、テントやトレーラーハウスに泊まれるEL COSMICO、ゲストハウス風のThe Lincoln Marfa等の宿泊施設は、現地に溶け込みネイティブな旅を楽しむことができます。俳優気分を感じられたThe Hotel Paisanoでの滞在、初めてのルームシェアタイプのThe Lincoln Marfaどちらも非常に面白い体験ができました。

また、自然現象であるマーファライトは観光客に人気のスポットになっています。ネイティブアメリカンの時代から、夜になると地平線に煌めく光が見えることがあるそうです。街から15km程のMarfa Lights Viewing Areaが観測地になっています。当日、私達は残念ながらその光を観ることはできませんでしたが、ヒューストンでは決して観ることのできない空いっぱいの煌めく星を観ることができました。

そのような自然を楽しめたり、素晴らしいアート作品や建物の他にも、お洒落なカフェやブルワリー、アートショップなどもあります。街中の風景はどこを切り取っても絵になる写真を撮ることが出来ます。古びた建物や看板に見られる寂れた町の雰囲気とハイクオリティなセンスの良さとの融合が、更にアーティストックなマーファのアドバンテージを高めているように感じました。

素晴らしいアートに浸れたこの数日間は、日常を脱した非日常な空間を満喫することができました。そんな魅力いっぱいの小さな町マーファへは、ホワイトサンズやビッグベンドの旅の途中で立ち寄りいただくのがお勧めです。

(編集委員 富田依子)

▶美術館(上)
街中のアート作品(左下)
街角で見つけた素敵な風景(右下)



▲ The Hotel Paisano (上)
重厚感のあるロビー(中)
映画「ジャイアンツ」の写真の展示(下)

